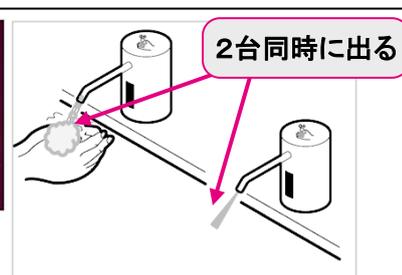


自動水石けん供給栓 コネクター・チューブ接続時の注意点

不具合事例

1台のセンサーにかざすと
2台同時に水石けんが出る。

対象: TES122M, 123M, 132M, 133M, 142M, 143M
(自動水石けん供給栓(ムース状/連立))



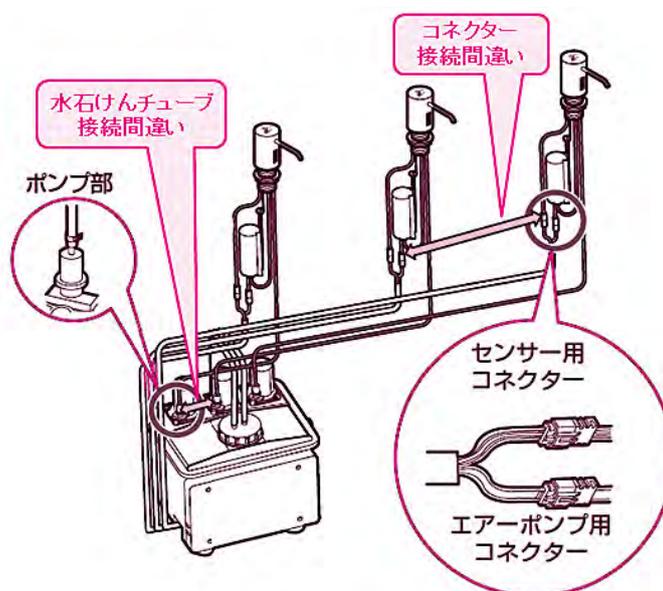
なぜ?

原因

施工時に、センサー・エアポンプコネクター
(もしくは、水石けんチューブ)を連立している、
他箇所のコネクターと誤接続したことが原因で
す。

ディスペンサー側のセンサー・エアポンプコネクターを
連立している他箇所のコネクターと誤接続した場合、
下記の作動不良が生じます。

- (1) A のセンサーが手を感知。
- (2) コントローラは、B のセンサーが感知したと判断。
- (3) ①A のエアポンプが作動。
②B の水石けんポンプが作動
- (4) ①A のスパウトから、エアが出る。この時、ノズル内に水石けんが残っていると、ムース状の水石けんが出る。
②B のスパウトから、液状の水石けんが出る。



これで解決

必ず実施

<重要>

センサー・エアポンプコネクター、水石けんチューブの接続を確認し、識別ラベルに従って正しく接続してください。

<ポイント>

センサー・エアポンプコネクター、水石けんポンプの識別ラベルは、タンクに近いディスペンサーの順に、「ラベルなし」、「赤ラベル」、「白ラベル」となります。

センサー・エアポンプコネクター



水石けんポンプ